

平成30年度第4回 独立行政法人労働者健康安全機構契約監視委員会〔概要〕

開催日時	平成31年3月18日（金） 11：05～12：50
場 所	労働者健康安全機構本部 会議室
委 員	山本 勲 （慶應義塾大学商学部教授） 田極 春美 （三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株）主任研究員） 竹内 啓博 （公認会計士） 黒須 篤夫 （独立行政法人労働者健康安全機構監事）
審議事項	1. 平成30年10月から平成30年12月までに締結した契約の点検・見直しについて
議事概要	<p>1. 契約の点検・見直しについて</p> <p>平成30年10月から平成30年12月までに締結した契約(592件)について、コスト削減、競争性の確保等の観点から点検すべき案件として選定した契約案件(6件)について審議。</p> <p>【主な指摘事項】</p> <p>○随意契約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「次期基幹業務システム(動作基盤)構築・運用一式に係る保守運用期間延長」について、現行システムの保守運用管理契約の期間延長であること。また、システムの性格上、業務対応が当該業者のみとなることから止む得ないと思料される。 ・「平成30年度事務職員通信研修(採用後2年目通信研修)」について、人材育成ツールである研修プランは、評価・検討を行うなどしたうえで、その内容の選定に努めること。 <p>○一者応札・応募</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「空調設備更新工事」について、参加資格要件の1つとして定めている工事实績については、実際の工事規模との妥当性について検討すること。 ・「北病棟ナースコール設備更新及び南北病棟生体情報モニター連動設備新設工事」や「医療機器にかかるファイナンス・リース(光干渉断層計OCT外12式)」については、他業者でも十分に請負可能な案件と考えられることから、十分な公告期間及び履行準備期間を確保のうえ、積極的な声掛けに努めること。